

**「保健医療科学」
第63巻 第2号 予告**

特集：歯科口腔保健法に基づく地域歯科保健活動の推進と今後の課題（仮題）

- 歯科疾患の疾病構造の変化を踏まえた地域口腔保健施策の推進戦略（仮題）…………… 尾崎哲則，他
歯科口腔保健法に基づく基本的事項の特色と今後の歯科口腔保健施策（仮題）…………… 小椋正之
行政における歯科保健領域の人材育成（仮題）…………… 安藤雄一，他
健康格差縮小に向けた自治体での地域歯科保健の取組み（仮題）…………… 秋野憲一
久山町コホート研究における口腔と全身の健康の関連性解明のアプローチ（仮題）…………… 山下喜久，他
高齢期の地域住民の口腔機能の現状と課題（仮題）…………… 三浦宏子，他

編 集 後 記

東日本大震災から3年が過ぎた。この間、多くの人が、これから日本はどうなるのだろうか？どこへ向かうのだろうか？と、誰にとすることはなく問いかけたであろう。その一つの問いかけが、自分たちの周囲の年長いた者たち、若い者たち、健康を損ねている者たちに向かう視点となったこともあるだろう。

現在、日本は高齢化社会へ急速に突き進む国々の一つであり、同じことの裏面でもあるが、少子化に向かってもかなりのスピードで進んでいる国々の一つである。このような状況の中で、自分たちの周囲の若い者たちの健康：周産期医療・母子保健の現況、に注目してみるのも意味があることではないだろうか。

今号の特集「母子保健分野における調査統計の活用と疫学研究の推進」では、母子保健研究について現状が概観され、その基礎となる乳幼児身体発育調査・健康診査などのデータ活用についても興味深いレビューがされている。さらに、近年注目されている、低出生体重児割合増加の問題が最新の研究知見とともに詳説されている。

今号のような総論的なレビューのもとで、現在の日本国民全体の状況、これから国民全体の健康問題の方向性などを考えていくことが、大きな傷を負った日本が歩みを進める一つのマイルストーンとなることを願う。

（健康危機管理研究部 大山卓昭）